平成28年度第1四半期実績評価

1 利用の承認等に関する業務

● 来館者数の動向

4月から6月までの来館者数は、50,202人で前指定期間の第1四半期平均と比較すると93%の入りであった。バラまつり期間で、例年多くの来館者があるゴールデンウィークのカレンダーの並びが良かったために、遠出傾向にあったのではないかと分析している。ただし、1日あたり、1,000人を超える日が、例年並みの15日あるなど、減少傾向にある中でも第1四半期における観覧者数を確保できている。

2 施設及び設備並びに文学館資料の維持管理に関する業務

● 施設・設備

- ・設備機器の保守点検について計画どおり行われた。
- ・来館者からの要望もあった1階女子トイレの洋式化を行い、館内のトイレの全洋式化が完了した。

● 文学館資料

- ・収蔵庫内の温湿度管理が適切に行われている。
- ・文学館資料の特別利用について適切な事務処理によって行われている。(2件)

3 文学館の事業の企画及び実施に関する業務

● 展覧会

事業計画どおり、収蔵品展、特別展及び常設展を開催した。

- ・収蔵品展 「作家 身のまわり」※平成27年度から継続
- ・特別展 「生誕130年 萩原朔太郎 マボロシヲミルヒト」

ミニ特集として、創立70周年である鎌倉アカデミアを取り上げた。

● 普及事業

- ・文学講座、文学散歩など、事業計画どおり開催した。
- ・ギャラリートークの開催日数を増やし、観覧者の展示への理解を深めた。
- ・バラまつりに関連して、「バラ講座」や「バラの解説」を行い好評を得た。
- ・バラまつり期間中に、ローズガーデンコンサート、言葉と音楽のコンサート等を開催し、いづれも盛況であった。

● その他文学の振興及び文学館の設置目的を達成するために必要な業務

- ・「ブックカーニバルinカマクラ」において本談会の講師を行うなど地域との連携に努めた。
- ・川端康成記念会と共催して、川端康成邸の春の庭園公開をした。

4 文学館資料の収集、保存、整理に関する業務

● 収集、保存、整理

- ・収蔵品の適切な保存、整理ができている。市職員の立ち会いのもと所在確認を行った。
- ・鎌倉ゆかりの文学を調査、研究する上で必要となる特別資料の寄贈を3件受け、適切な処理を行った。(原稿14点、葉書1点、関連資料1点)
- ・文学館資料の購入及び購入に係る事務手続きを適切に行った。(図書122点、筆跡資料9点)

5 その他市長が定める業務

● 文学館資料の調査及び研究

- ・事業計画どおり、収蔵品展、特別展及び常設展を開催した。
- ・図録「萩原朔太郎 マボロシヲミルヒト」を発行した。

● 事務処理

- ・例月の指定管理業務報告書等が期日までに提出された。(4月分:5月13日、5月分:6月14日、6月分:7月14日)
- ・展示替えに伴うホームページの情報更新が適切に行われていた。
- ・市広報に展覧会や関連イベントの情報を掲載し、市民への周知を行った。
- ・市モニター広告を利用し、市役所本庁舎への来庁者に周知を行った。

● その他

- ・これまで有料だった市内在住の高校生とその教員についても入館料を無料とし、より来館しやすくなるように変更した。
- ・バラまつりなど繁忙期を前に江ノ電の中吊り広告やギャラリー50での展示を行うなど効果的な広報活動を展開した。
- ・SNSを活用し、バラの開花情報などタイムリーな情報の発信を行った。
- ・メディア対応を積極的に行った。
- ・学校や行政、各種団体の視察等に対応した。
- ・警備員教育課程に参加した。(2名)

6 全体評価

- ・春の特別展は、生誕130年を記念して萩原朔太郎を取り上げた。近年人気コミックのモチーフになるなど萩原朔太郎の人气が再燃していることもあり、関連した文学講座等への問合せや応募者数からも観覧者の興味を引く展示であったといえる。萩原朔太郎の詩は一般的に難解と言われる中で、展示内容や展示方法で観覧者の興味を引くよう努めていたので、今後の展示においても文学に造詣が深い方から初心者まで興味の持てる展示を引き続き努力されたい。
- ・第1四半期の観覧者数は、過去最高を記録するなど好調であった昨年度と比較すると減少傾向にあった。ゴールデンウィークのカレンダーの並びや週末の天候に左右されやすいことは理解できるので、要因について十分に研究し、観覧者数の確保につなげてもらいたい。
- ・SNSを活用し、バラの開花状況を随時情報発信することで来館者のニーズに応えることができていた。効果的な広報、情報発信について今後も続けられたい。
- ・施設・設備管理について、事業計画に基づき適切に行われている。施設、設備ともに老朽化が進む中、日頃から適宜点検に努め、重大な事態を未然に防いでいる。春のバラまつり期間など繁忙期を前に、年度初め早々にトイレの洋式化修繕を行ったことで利用者の利便性を高めるなど、修繕時期を含めた修繕計画が適切である。

平成28年度第1四半期判定評価

評価項目	配点	第1四半期 評価結果	減点
1 利用の承認等に関する業務			
来館者数の動向			
入館者数が前指定管理期間の同四半期の平均値と比較して80%以上の水準にあるか(不可抗力を原因とするものを除く)	5	○	
特別利用			
資料に悪影響が出ないよう適正な承認を行っているか	10	○	
2 施設及び設備並びに文学館資料の維持管理に関する業務			
施設・設備の維持管理			
定められた点検が実施されているか	5	○	
不具合箇所を放置せず、必要に応じて修繕を実施しているか	5	○	
庭園、進入路などの手入れはきちんとされているか	5	○	
文学館資料の維持管理			
収蔵品の所在は確認されているか	3	○	
温湿度管理など、収蔵品が適切に取り扱われているか	5	○	
3 文学館の事業の企画及び実施に関する業務			
展覧会			
館及び展覧会の周知が積極的に図られているか	5	○	
計画どおりに展覧会が開催されているか	10	○	
普及事業			
計画どおりに普及事業が行われているか	5	○	
文学館資料の調査及び研究			
計画どおり調査・研究が進められているか	5	○	
調査・研究の成果を市民等に公開されているか	5	○	
その他必要な業務			
来館者ニーズの把握・反映につとめているか	5	○	
4 文学館資料の収集、保存、整理に関する業務			
収集、保存、整理			
文学館の趣旨にあった資料の購入ができていないか	5	○	
寄贈・寄託の手続きが適切に行われているか	5	○	
劣化した資料の修繕や補修が行われているか	5	○	
基準に沿った資料整理が行われているか	5	○	
5 その他市長が定める業務等			
事務処理			
決められた期日までに報告書は提出されているか	5	○	
市との連絡調整はきちんとされているか	5	○	
市と協議を行った事項は確実に実施されているか	5	○	
固有の銀行口座で適正な会計処理を行っているか	10	○	
苦情対応			
来館者や近隣との間のトラブルに適正な対処をしているか	5	○	
苦情・要望への迅速な処理、市への報告がなされているか	5	○	
その他			
適切に収蔵品管理システムが運用されているか	5	○	
備品や文学案内板等の管理が適切になされているか	5	○	
研修等自己啓発の努力がされているか	3	○	
災害時の対応ができるよう、準備はされているか	3	○	
個人情報適切に管理されているか	10	○	
減点の計			0

実施されている場合・・・○ 実施されていない場合・・・×

減額率

減点の合計	減額率
10～15	5%
16～20	10%
21～	20%